

一般会計決算における要望指摘事項

各常任委員会で審査された決算のうち、一般会計については審査の結果が要望指摘事項を付して報告されました。本会議で採決した結果、原案のとおり認定しました。

反対討論 大沢えみ子 議員 賛成討論 太田博希 議員

要望指摘事項

■ 総務経済委員会

- 生活一時金制度や勤労者住宅資金貸付制度について、有効に利用されるよう他の貸付制度も参考に見直しを検討されたい。
- 資格取得支援や職業訓練校などへの通学支援など、引き続き若者の正規就労に結びつくような施策を実施されたい。
- 地域の防災力を強化するため、住宅防火診断や自主防災組織の初期消火訓練などの充実に努められたい。

■ 文教厚生委員会

- 指定管理者制度の導入施設については、課題を把握し、検証・評価していくことを徹底すると同時に、議会へ逐次報告されたい。
- 堀兼学校給食センター更新事業については、安心・安全な給食が提供できるよう、予定どおり27年度供用開始に向け、全力で取り組まれたい。

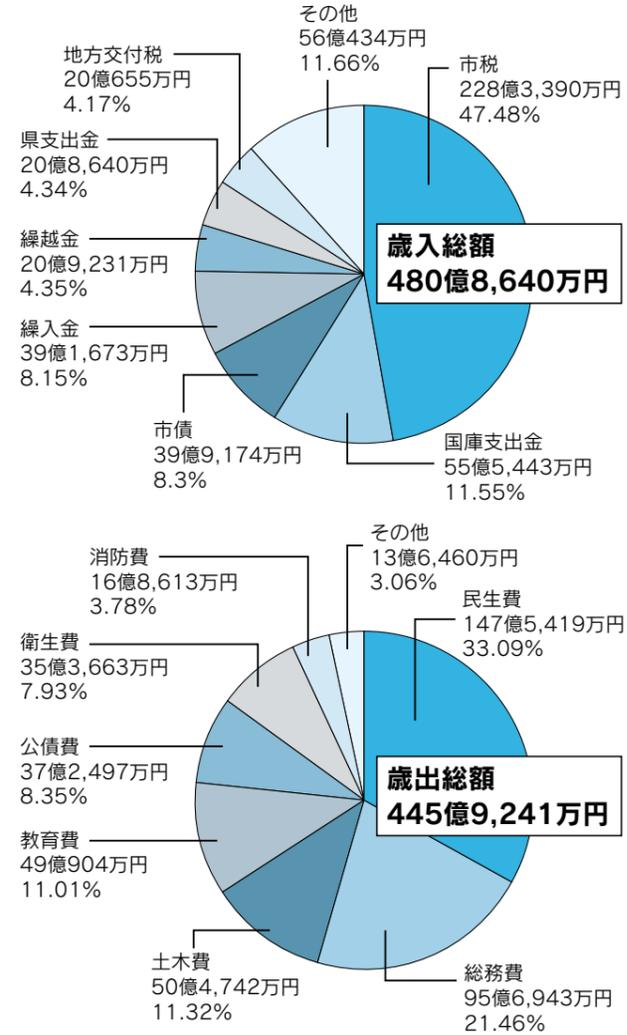
■ 建設環境委員会

- 太陽光発電システム設置費補助金の増額を検討されたい。
- 公共施設での自然エネルギーの活用について、積極的に推進されたい。
- 放射能汚染に関する専門的知識を高め、それに対応する部署を環境経済部内に設置するなど、一元化をされたい。
- 市道幹第9号線について、早期に整備されたい。
- 赤坂の森公園多目的グラウンドの使用について、教育委員会事業以外の使用について、検討されたい。
- 全公園施設の利用者の増加策を検討されたい。

■ 共通項目

- 過去の決算特別委員会における要望指摘事項のうち、未処理の事項については早急に対処されたい。

平成22年度 一般会計決算



商工・労働

Q 若年者の雇用対策は。
A 面接相談、保護者のための我が子の自立支援セミナー、就職に役立つパソコン講座、就職相談などを実施。
Q 店舗住宅リフォーム補助金の実績と効果は。
A 実績件数46件、補助実績382万8千円、工事額で8千460万8千45円、施工業者は26社。店舗も利用が年々増加し効果が出ている。
Q 入間川七夕まつりの花火の費用と打ち上げた数の推移は。
A 20年度が340万円、2千

200発。21年度が285万円、1千800発。22年度が200万円、1千600発。

農林水産業

Q 農業後継者の育成対策は。
A 就農相談や農場での研修支援活動など、年間を通じて展開している。22年度は後継青年農業者が3名、Uターン就農者が2名、計5名が新規に就農した。

建設

Q 狭山市駅西口周辺整備推進費、約11億5千100万円の主な事業内容と成果、今後の見通しは。
A 再開発事業では、駅前広場が完成し、全面供用が開始された。また、2街区の建築工事に着手した。新都市機能ゾーンでは、街区公園の暫定整備や道路築造工事を実施した。狭山市駅橋上駅舎・東西自由通路整備事業では、昨年12月1日に東西自由通路の全面供用が開始され、本年3月に事業が完了した。今後も事業を計画的に推進し、中心拠点にふさわしい都市基盤の整備に取り組んでいく。

Q 住宅や民間特定建築物の耐震化の進捗状況は。
A 耐震化の目標は、27年度末を90%に設定しているが、住宅は67%に対して72%、民間の特定建築物は74%に対して76%の進捗率と推計している。

消防

Q 3月11日の東日本大震災ではどのような出動をしたのか。
A 延べ18隊、51人が25日間にわたり岩手県陸前高田市および福島県本宮市に出動した。

教育

Q 児童の英語検定の内容と成果は。
A 20年度から小学6年生を対象に実施している。全国と比べ、平均的に4ポイント上回っている。小学校の成果が中学校の学力向上に寄与していると考えられる。
Q 体育館の耐震補強工事の進捗状況、今後の予定は。
A 本年度から工事に着手し、

常任委員会での審査

総務経済委員会

一般会計は歳入全般、議会費、総務費、労働費、農林水産業費、商工費、消防費、公債費、諸支出金、予備費、実質収支に関する調査、財産に関する調査を審査。

Q 財政調整基金以外の目的基金は、どのような方針で積み立てているのか。
A 24年度以降に予定している後期基本計画の諸事業の実施などに活用したいと考えている。市民要望の高い学校施設の改修、

太陽光発電や省エネ自動車への助成、公民館の改修などのために積み立てていきたい。
Q 市営住宅柏原団地太陽光発電電料が、前年度と比較し増えているが、その要因は。
A 売電量が、1万1千634kWから1万2千285kWに増えたこと。また、売買単価が21年度の28.31円から45.72円になったことが大きな理由である。
Q 自治振興費中、コミュニティ施設特別整備事業費補助金に各自治会から出された要望件数と内訳は。また、実施件数は。
A 要望は53件あり、内訳は、集会所改修13件、集会所借上料30件、冷暖房設置5件、掲示板設置4件、収納庫設置1件。このうち41件を実施した。
Q 耕作放棄地の実態調査とこれに伴う報告は、138筆とあるが、具体的内容は。
A 市内で138筆、80名に報告を行った。年2回、6月と10月に農地パトロールを実施し、その中で耕作されていない農地に関し報告などを行ったもの。

文教厚生委員会

一般会計は総務費、民生費、衛生費、教育費および関連する歳入の一部を審査。
Q 障害者就労支援事業委託料

の具体的な内容と実績は。
A 障害者の職業的・社会的自立を促進することを目的に、就職相談などを行い、職場定着を支援している。22年度の支援などは4千404件で、22年度末の登録者数133名のうち、就職者数は71名となっている。
Q 保育所保護者負担金に、収入未済額や不納欠損が生じているが、今後の対策は。
A さまざまな事情で納付が困難な世帯もあるが、保育料負担の公平性の観点から、分割納付の相談も含め、引き続き対応していく。
Q ふれあい健康センターの修繕料は、市が負担すべき内容か。
A 指定管理者基本協定に基づき、50万円以上の修繕5件を市の負担とした。
Q 理科教育等設備整備費補助金が大幅に減少しているが、その理由は。
A 例年は30万円程度であるが、21年度は国の経済危機対策に基づき1千300万円の補助金があり増となった。22年度はその反動で大幅に減少した。
Q 公民館3館に指定管理者制度を導入したが、モニタリングの状況や利用者の声は。また、課題はどのような検証したのか。
A モニタリングは前期、後期で2回実施し、結果は、おおむね

◆国民健康保険特別会計決算認定
Q 今後の税率改定は。
A 今回の決算などを勘案して24年度は税率改定を見送ることにした。
◆介護保険特別会計決算認定
Q サービスの計画に対する利用率は、どのくらいか。
A 居宅サービス費が95.5%。施設サービス費が81.8%。
◆その他の議案
◆特別会計決算認定(下水道事業、老人保健、上広瀬土地区画整理事業、狭山市駅東口土地区画整理事業、後期高齢者医療) ◆水道事業会計決算認定